

小学校 6 年 総合的な学習の時間 「TV 番組を作ろう」

授業のねらい

- 自分の学校の紹介したいことについて TV 番組を作る。
- 他学年に番組を見せることを最終目的として、他者意識をもって番組を作る。
- 肖像権やインタビューのお願いなど、メディアリテラシーやマナー面も学ぶ。

I C T 活用の工夫

- PowerPoint の自動再生機能を使って 5 分程度の番組を作る。
- 動画はタブレット端末のカメラを使用する。
- 動画と写真（静止画）、イラスト、Excel で作成したグラフ、アンケート、インタビューなど、タブレット端末の機能やアプリを必要に応じて、児童が選択・決定する力を身に付ける。
- 一つの番組を班で協力して作成する。
- 自己満足の動画とならないよう、作成した動画を他の班や教員に見てもらい、助言を得ながら、適宜修正を加える。
- メディアに対する規範意識を身に付けさせる。
例：動画や写真を撮るときは、必ず撮る相手に許可を取る。
本やインターネットを使う際は出典を明らかにする。
- 「インタビューやアンケートの際は許可を取ってから行う」など、人との関わり方やマナーも指導する。

児童の様子

- 友達とアイデアを出し合いながら、意欲的に取り組んでいた。
- 最初の頃は、他のクラスの授業中にもかかわらず、騒がしくしてしまうことや、許可を取らずに突然インタビューを行おうとすることがあったので、周りの様子に目を向け、誰に対しても失礼の無い行動をとるよう指導した。

成果

- 他者意識をもつことや、著作権や肖像権といった権利の大切さが浸透した。
- 必要か不必要か、適切か否かなど、やりたいようにやるのではなく、資料や機能を取捨選択する力が身についた。
- 構成力が高い、イラストが得意、ユーモアがあるなど、班のメンバーがお互いの長所を生かしながら活動することができた。
- 番組を作成する側も見る側も、学校の特徴やよさを再確認することができた。

課題

- 教員がタブレット端末等の操作に慣れていないと、操作に関して適切な指導ができなかったり、学習の目的が達成できなかったりすることもある。
- 教員がこまめに進捗状況の確認や軌道修正をしないと、自己満足な内容になったり、誰かの権利を侵害してしまったりと、様々な問題が起きることを想定しながら指導する必要がある。